

# 知的資本日本株ファンド

愛称：ICJ $\alpha$

追加型投信／国内／株式

## 交付運用報告書

### 第1期

決算日：2021年6月25日

作成対象期間：2021年4月15日～2021年6月25日

第1期末（2021年6月25日）	
基準価額	10,003円
純資産総額	262百万円
第1期中 (2021年4月15日～2021年6月25日)	
騰落率 <sup>※</sup>	0.0%
分配金合計	0円

※騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算しています。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)を電子交付することが定められています。運用報告書(全体版)は、下記の手順にてご覧いただけます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

< 閲覧方法 >

右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「運用ファンド」ファンド名称より「運用報告書」を選択ください。

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼を申し上げます。当ファンドは知的資本日本株マザーファンドの受益証券への投資を通じて、日本の金融商品取引所に上場している、知的資本が豊富な企業の株式に投資し、中長期的に信託財産の成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。

ここに、当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。

今後ともいっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

### キャピタル アセットマネジメント株式会社

東京都千代田区内神田一丁目13番7号 四国ビルディング9階

< お問い合わせ先 >

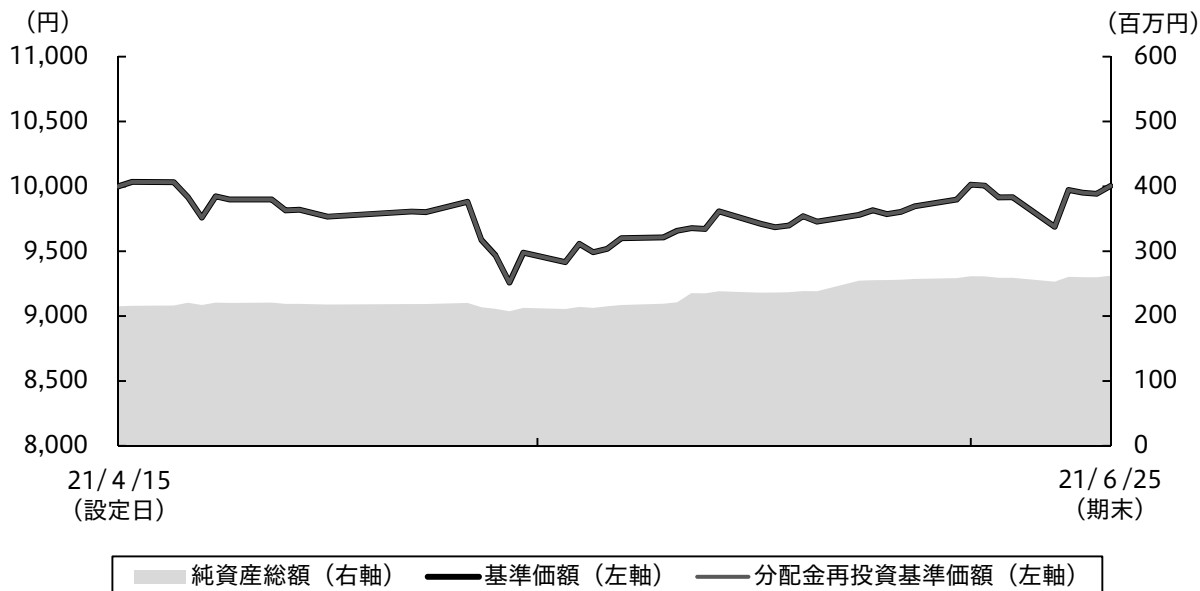
【電話番号】 03-5259-7401

(受付時間：営業日の午前9時～午後5時)

【ホームページ】 <http://www.capital-am.co.jp/>

## ◆ 運用経過の説明 ◆

### 1. 基準価額の推移 (2021年4月15日～2021年6月25日)



設定日：10,000円

第1期末：10,003円（既払分配金0円）

騰落率：0.0%（分配金再投資ベース）

(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

### 2. 基準価額の主な変動要因 (2021年4月15日～2021年6月25日)

当期末の基準価額は、10,003円となりました。設定当初より知的資本が豊富な国内有力企業の株式に投資して来ましたが、当期は上昇要因と下落要因が概ね拮抗し、上記の基準価額となりました。

### 【上昇要因】

エーザイ(医薬品)、味の素(食料品)、レーザーテック(電気機器)などの株価が上昇したことが、基準価額の主なプラス要因となりました。

### 【下落要因】

ナブテスコ(機械)、ソフトバンクグループ(情報・通信業)、ネクソン(情報・通信業)などの株価が下落したことが、基準価額の主なマイナス要因となりました。

## 3. 当期中の1万口(元本10,000円)当たりの費用明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	29円	0.293%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額×信託報酬率です。 なお、期中の平均基準価額は9,773円です。
(投 信 会 社)	( 11)	( 0.108)	・ 委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	( 17)	( 0.174)	・ 運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後のアフターフォローの対価
(受 託 会 社)	( 1)	( 0.011)	・ 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	6	0.065	(b) 売買委託手数料は期中の金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。
(株 式)	( 6)	( 0.063)	売買委託手数料とは、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料です。
(先物・オプション)	( 0)	( 0.002)	
(c) そ の 他 費 用	28	0.284	(c) その他費用は期中の金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。
(監 査 費 用)	( 5)	( 0.054)	・ 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	( 23)	( 0.231)	・ 信託事務の処理等に要するその他の諸費用(目論見書・届出書および報告書の作成、交付、印刷に係る費用等)
合 計	63	0.642	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、その他費用は、当ファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

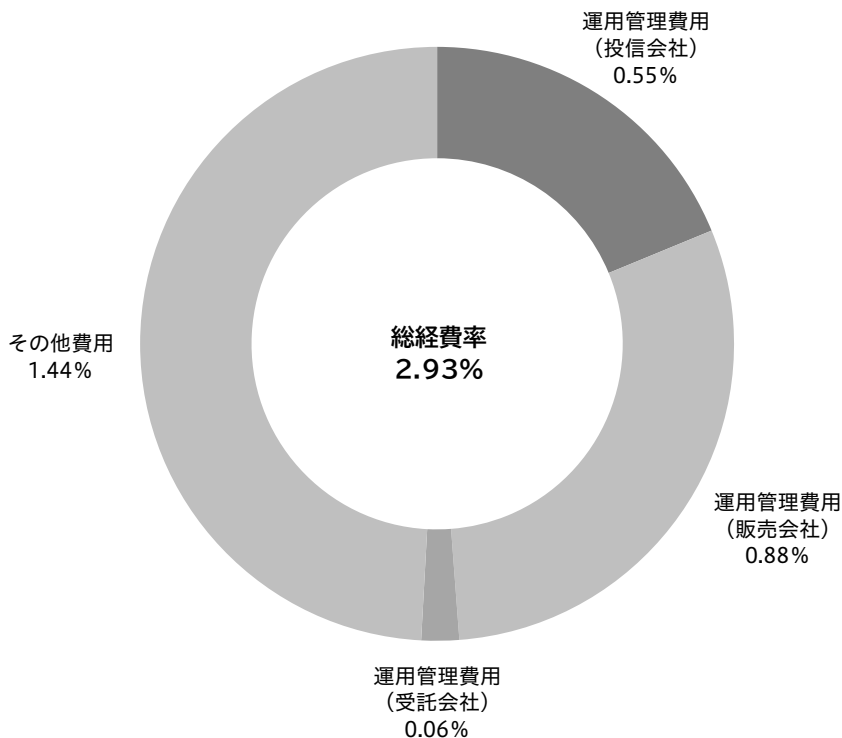
(注2) 「比率」欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注3) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

### ○ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は2.93%です。



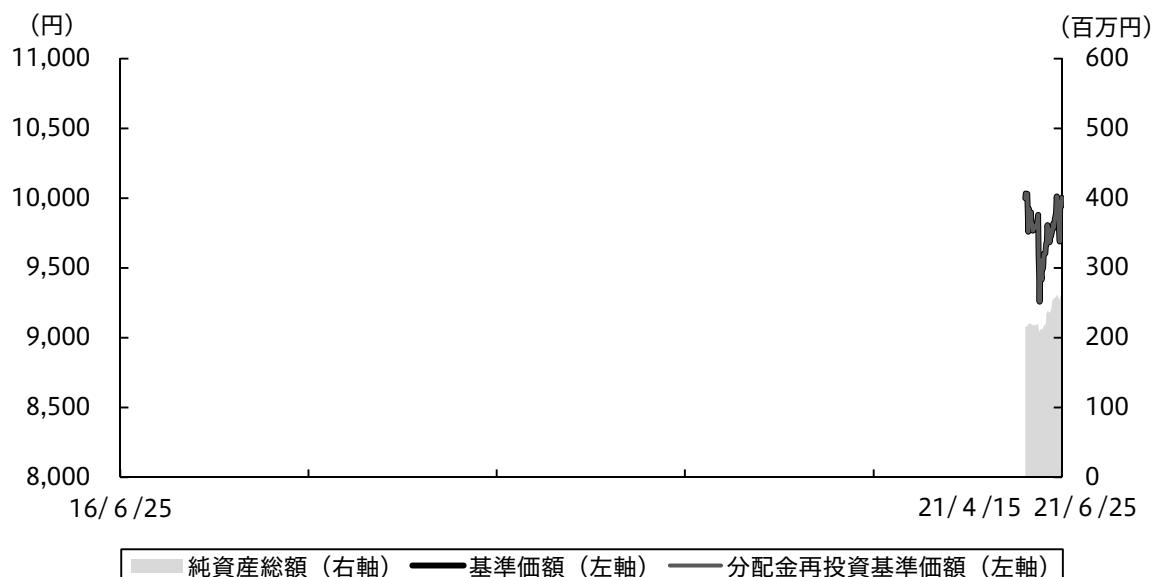
(注1) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

#### 4. 最近5年間の基準価額等の推移 (2016年6月25日～2021年6月25日)



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算しています。

	(2021/4/15) 設定日	(2021/6/25) 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,003
期間分配金 (税込み) 合計 (円)	-	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	-	0.0
東証株価指数 (TOPIX) 騰落率 (%)	-	0.2
純資産総額 (百万円)	215	262

(注1) 当ファンドは、適切なベンチマークが存在しないため、ベンチマークを設けていません。当報告書では、「東証株価指数 (TOPIX)」を参考指数として表示しています。

(注2) ファンド設定日 (2021年4月15日) から5年に満たないため、設定時を起点として計算しています。

(注3) 期間分配金は、年間の分配金を合計して算出しています。

## **5. 投資環境 (2021年4月15日～2021年6月25日)**

---

当期の国内株式市場は、企業業績の改善見通しなどが株価の上昇要因となったものの、新型コロナウイルスの感染者の増加や米国における金利の上昇懸念などが株価の抑制要因となりました。当期末の東証株価指数(TOPIX)は、設定時に比べて0.2%高い1,962.65ポイントで終わりました。

設定日(4月15日)以降の4月の国内株式市場は、新型コロナウイルスの感染拡大などを嫌気し、総じてやや軟調な展開でした。米国の株価指数が最高値を更新するなど支援材料もありましたが、インドなどで新型コロナウイルスの感染が再度拡大し、国内でも緊急事態宣言が再発令される事態に陥ったことから、月末に向けて見送りムードが強まりました。

連休明け後の5月の国内株式市場は、中旬に大きな調整があったものの、堅調な企業業績等が下支え要因となり、概ね横ばいでした。中旬の調整は、米国のインフレと長期金利の上昇懸念が契機となり、国内外で大きな調整となりました。しかし、企業業績自体は堅調であることに変わりはないことから下旬には買戻しが優勢となり、国内株式市場は5月末には概ね月初の水準にまで回復しました。

決算日(6月25日)までの6月の株式市場は、国内における新型コロナウイルスワクチン接種の進展と経済活動の再開期待から、概して堅調な展開でした。円安の進行もあり、TOPIXは16日に約2ヵ月半ぶりの高値となる1,975.86ポイントまで上昇しました。その後、米国のゼロ金利政策の解除前倒し懸念などから国内株式市場も一時大きく調整する局面がありましたが、主要国経済と企業業績の回復見通しを背景に国内株式市場は堅調な展開を継続し、TOPIXは前月末比2.1%高い1,962.65ポイントで決算日を迎えました。

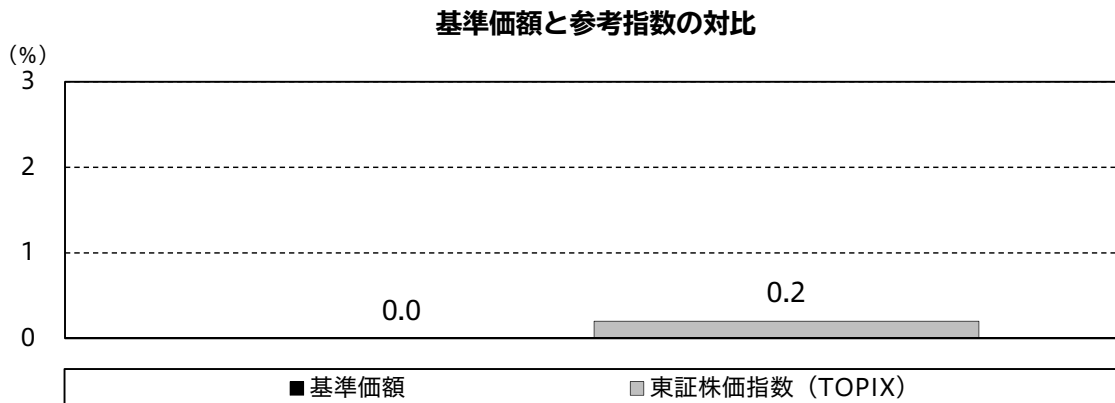
## **6. 当該投資信託のポートフォリオ (2021年4月15日～2021年6月25日)**

---

株価純資産倍率や時価総額等を活用して、東京証券取引所第1部上場株式の中から知的資本が豊富でかつ株式の流動性も高い銘柄を選出し、当期は計93銘柄をポートフォリオに組み入れました。また、運用の効率化を図るため、株価指数先物(TOPIX先物)も組み入れました。期中は、信託財産の中長期的な安定成長を狙い、バイ・アンド・ホールドを基本的な投資スタンスとしてポートフォリオを運営しました。なお、組み入れ銘柄の業種別の構成は、電機機器、情報・通信業、サービス業等のウェイトが高いポートフォリオを維持しました。

## 7. 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは運用の指標となるベンチマークを設けていません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数である東証株価指数 (TOPIX) の騰落率です。



(注1) 基準価額は分配金 (税引前) 込み。

(注2) 当ファンドは、適切なベンチマークが存在しないため、ベンチマークを設けていません。当報告書では、「東証株価指数 (TOPIX)」を参考指数として表示しています。

## 8. 分配金

分配原資、基準価額水準等を勘案し、当期の収益分配は以下の通りとさせていただきます。留保益は、「基本方針」および「運用方法」に基づいて運用します。

(単位：円、1万口当たり・税引前)

	第1期
	2021年4月15日～ 2021年6月25日
当期分配金	－
(対基準価額比率)	－%
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	49

(注1) 当期の収益は経費控除後の配当等収益および経費控除後の有価証券売買等損益、当期の収益以外は収益調整金および分配準備積立金です。

(注2) 対基準価額比率は、当期分配金 (税込み) の期末基準価額 (分配金込み) に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金 (税引前) と一致しない場合があります。

## ◆ 今後の運用方針 ◆

新型コロナウイルスの変異種の感染拡大や欧米の金融当局の政策スタンスの変更などが国内外の株式市場に影響を与え、これらから当ファンドも影響を被る可能性があります。しかし、独自の技術力や強固な顧客基盤などにより高い競争力や価値創出能力を有する企業に投資することにより、中長期的に優れた投資成果を挙げられると期待できます。当ファンドでは、所定の運用プロセスに則り、知的資本が豊富な国内有力企業の株式に選別投資することにより、信託財産の中長期的な安定成長を目指して運用を継続していきます。

## ◆ お知らせ ◆

該当事項はございません。

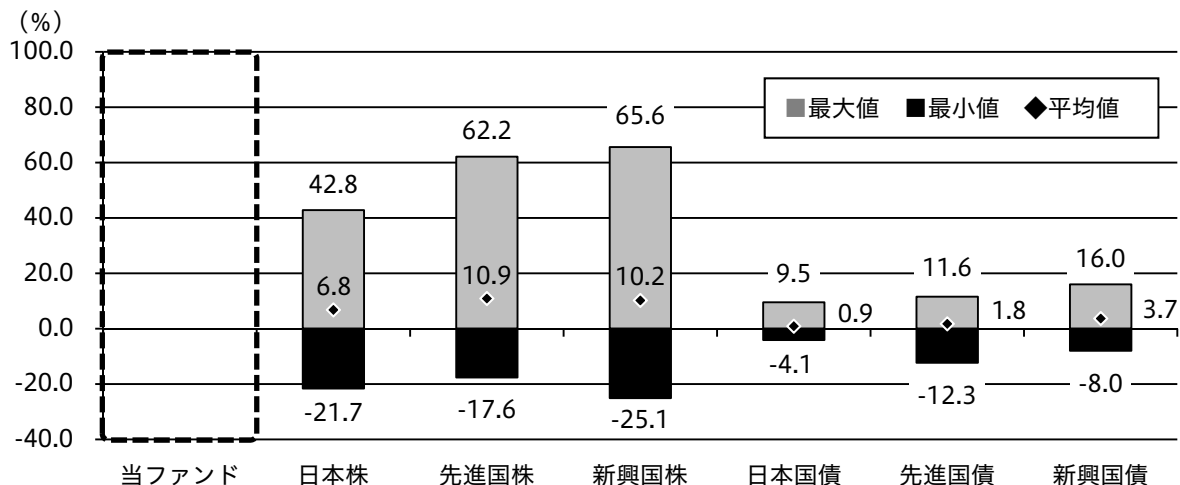
## ◆ 当該投資信託の概要 ◆

商品分類	追加型投信／国内／株式	
信託期間	2021年4月15日から2030年12月25日	
運用方針	ファミリーファンド方式により、中長期的に信託財産の成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。	
主要投資対象	ベビーファンド	知的資本日本株マザーファンドの受益証券
	知的資本日本株マザーファンド	日本の金融商品取引所に上場している、知的資本が豊富な企業によって発行された株式
運用方法	知的資本日本株マザーファンドの受益証券への投資を通じて、日本の金融商品取引所に上場している、知的資本が豊富な企業の株式に投資し、中長期的に信託財産の成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。	
分配方針	決算日(年2回、原則として6月25日、12月25日)に収益分配方針に基づいて分配を行います。分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合等には分配を行わないことがあります。	



## ◆ ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較 ◆

(2016年6月～2021年5月)



(注1) 代表的な資産クラス：2016年6月～2021年5月

全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 当ファンドは設定から基準日まで1年経過していないため、表示に必要とする年間騰落率のデータが不足しています。従って、当ファンドの年間騰落率は記載していません。

(注3) 過去5年間の各月末における年間騰落率の最大・最小・平均を、他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

(注4) 各資産クラスの指数につきましては最終ページをご覧ください。

(注5) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、邦貨換算しています。

(注6) 騰落率は当期末の直近月末から遡った算出結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

## ◆ 当該投資信託のデータ ◆

### 1. 当該ファンドの組入資産の内容 (2021年6月25日現在)

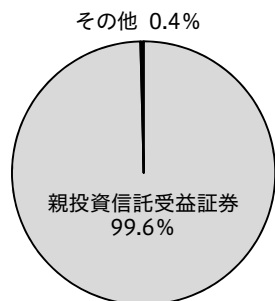
#### ● 組入 (上位) ファンド・銘柄等

	組入比率
知的資本日本株マザーファンド	99.6%
その他	0.4%

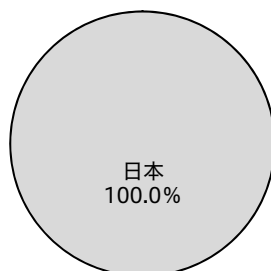
(注1) 組入比率は、純資産総額に対する割合です。

(注2) 全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書 (全体版) に記載されています。

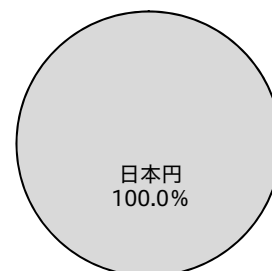
#### ● 資産別配分



#### ● 国別配分



#### ● 通貨別配分



(注1) 資産別配分比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別・通貨別配分比率はポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注2) 国別配分比率は、発行国・地域で区分しています。

(注3) 各比率の合計が四捨五入の関係で100%にならない場合があります。

### 2. 純資産等

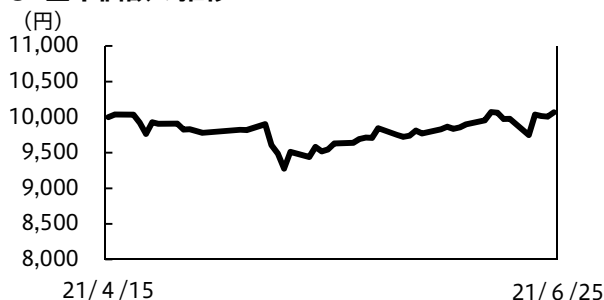
	第1期末 2021年6月25日
純資産総額	262,283,164 円
受益権総口数	262,213,766 口
1万口当たり基準価額	10,003 円

(注) 当期間における追加設定元本額は46,973,581円、同解約元本額は0円です。

### 3. 組入上位ファンド（銘柄）の概要

#### 【知的資本日本株マザーファンド】

##### ● 基準価額の推移



##### ● 組入上位銘柄

銘柄名	業種	比率(%)
エーザイ	医薬品	1.8
レーザーテック	電気機器	1.7
協和キリン	医薬品	1.5
リクルートホールディングス	サービス業	1.5
イビデン	電気機器	1.4
伊藤園	食料品	1.3
T I S	情報・通信業	1.3
浜松ホトニクス	電気機器	1.3
味の素	食料品	1.3
ミネベアミツミ	電気機器	1.3
組入銘柄数	93 銘柄	

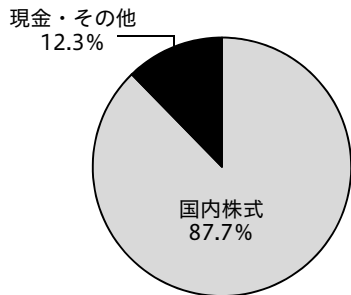
(注1) 当マザーファンドの純資産総額に対する比率です。  
 (注2) 全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

(注) 費用項目の概要及び注記については、2頁の費用明細をご参照下さい。

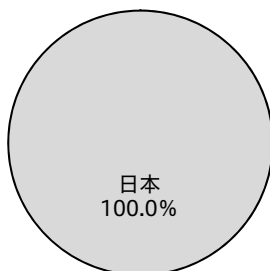
##### ● 1万口当たりの費用明細

項目	当期
(a) 売買委託手数料 (株 式) (先物・オプション)	6円 ( 6) ( 0)
合計	6

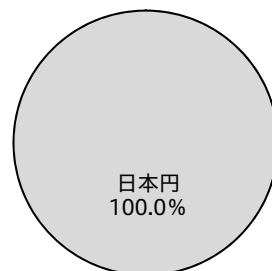
##### ● 資産別配分



##### ● 国別配分



##### ● 通貨別配分



※株価指数先物を12.0%買建てしています。

- (注1) 基準価額の推移、組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別のデータは2021年6月25日現在のものです。  
 (注2) 1万口当たりの費用明細は、「知的資本日本株マザーファンド」の直近の決算期のものです。費用項目については2頁の注記をご参照ください。  
 (注3) 資産別配分比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別・通貨別配分比率はポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。  
 (注4) 国別配分比率は、発行国・地域で区分しています。  
 (注5) 各比率の合計が四捨五入の関係で100%にならない場合があります。

## ◆ 指数に関して ◆

### <代表的な各資産クラスの指数>

日本株：Morningstar 日本株式指数	日本国債：Morningstar 日本国債指数
先進国株：Morningstar 先進国株式指数(除く日本)	先進国債：Morningstar グローバル国債指数(除く日本)
新興国株：Morningstar 新興国株式指数	新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債指数

海外資産の指数については、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数値を使用しています。  
上記各指数は、全て税引前の利子・配当込みの指数値を使用しています。

### <各指数の概要>

- 日本株：Morningstar 日本株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。
- 先進国株：Morningstar 先進国株式(除く日本)指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。
- 新興国株：Morningstar 新興国株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。
- 日本国債：Morningstar 日本国債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。
- 先進国債：Morningstar グローバル国債(除く日本)指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。
- 新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、エマージング諸国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

### <重要事項>

当ファンドは、Morningstar, Inc.、又はイボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社を含むMorningstar, Inc.が支配する会社(これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います)が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に当ファンドに投資することの当否、または当ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarのインデックス(以下「Morningstarインデックス」と言います)の能力について、当ファンドの受益者又は公衆に対し、明示又は黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。当ファンドとの関連においては、委託会社とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマーク及びサービス名並びに特定のMorningstarインデックスの使用の許諾であり、Morningstarインデックスは、Morningstarグループが委託会社又は当ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成又は算定を行うにあたり、委託会社又は当ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、当ファンドの基準価額及び設定金額あるいは当ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または当ファンドの解約時の基準価額算出方式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与しておりません。Morningstarグループは、当ファンドの運営管理、マーケティング又は売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータの正確性及び／又は完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、当ファンドの受益者又はユーザー、またはその他の人又は法人が、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示又は黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータについて明示又は黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的又は使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害(逸失利益を含む)について、例えこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。